

(別紙様式第5号)

6次産業化推進整備事業(農業主導タイプ)点検評価書(平成30年度分)

地方農政局等名
東北農政局

6次産業化法人の名称	設立年月日	代表者名	構成員数
有限会社 伊豆沼農産	平成元年5月1日	伊藤秀雄	3人
主たる事務所の住所	宮城県登米市迫町新田字前沼149-7	TEL FAX	セキュリティに配慮し、 非公開とします。

1 事業の実施状況に対する所見

[取組状況について]

新規導入設備は平成24年5月から稼働しているが、消費者ニーズに対応した規格の製品を製造することにより加工品の取扱い数量は、順調な推移をたどっている。

[経営状況、事業による変化等について]

新規導入設備による製品のできばえ品質は優れ、お客様から好評を得ていることから、規格重量やレシピの見直しを行い新設備(レストラン、直売所)への対応に切り替えた。また、作業効率、製品歩留まりが良くなり、生産性の向上につながっている。
本年は、経産大臣から「地域未来牽引企業」に選定された。売上も当面の目標だった5億円を越すことが出来た。

2 成果目標の達成状況に対する所見

項目	所見
(所得の向上に関する目標) 売上高の増加	平成29年から、外販営業を積極的に行い、新規取引先を増やしてきており、売上高が当面の目標であった5億円を越すことができたが、目標とした売上高に達しなかった。
(雇用の創出に関する目標) 雇用者の増加	目標は達成している。
(地域の活性化に関する目標) [体験実習生受入]	目標は達成している。

3 施設等の利用状況についての所見

[新規導入機械の利用状況について]

新規導入設備を使っの製品のできばえ品質と作業性は極めて良好であり、重量規格やレシピを見直すなどして対応できる品種を多くしたことから計画を上回る利用率となっている。
昨年まで計画に達しなかったスチームコンベクションの小は、メニュー変更により回転が上がった。

4 6次産業化法人と連携法人の取引状況についての所見

該当なし

5 改善措置等に対する所見及び指導内容

(1)成果目標について

成果目標である売上高は新規取引先発掘など外販営業を積極的に行った結果、増加している。
なお、同目標の達成に向け、さらに外販活動を展開していくこととしていることから、引き続き自己点検報告書の提出を求めるものとする。

(2)施設等の利用状況について

すべてが計画の数値を上回った。